

庄内小通信



庄内小学校通信
第8号
2024年7月4日



ゆ 夢をもち り 理想に向かって の 伸びやかに き 毅然と進む ゆりのきっ子

【6月4日(火)から4年生が「大正琴」の演奏にチャレンジしています】

4年生は、地域にお住まいの中川万壽美先生にお越しいただき、「大正琴」を教えてもらっています。子どもたちは、初めて見る楽器に「どうやって演奏するのだろう?」と不思議そうに眺めていましたが、中川先生に優しく丁寧に指導していただくうちに、みるみる演奏がうまくなっていきました。私が見に行くと、「きらきらぼし」を演奏していました。子どもたちの奏でる素敵な音色に、思わずうっとりしてしまいました。中川先生のおかげで、素敵な音楽の世界を体験させていただいております。心より感謝申し上げます。指導としましては、7月上旬まで行っていただく予定です。4年生の子どもたちには、上達した腕前をぜひ皆さんに見せてほしいと思います。



【6月10日(月)1・2年生:「いっぱいとれたよ!」ジャガイモの大収穫】

JA 鈴鹿庄内支店さんから「そろそろジャガイモの収穫ができそうですよ。」と学校にお声かけしていただきました。そこで、庄内小の代表として、1・2年生の子どもたちが、6月10日(月)に JA 鈴鹿庄内支店さんの農園に赴き、ジャガイモを収穫させていただきました。いざ掘ってみると、ジャガイモが土の中からザクザクと出てきました。「大きいジャガイモ見つけたよ!」「ハートの形をしているおいもが出てきた!」等と、子どもたちは大はしゃぎでした。両手いっぱいにジャガイモを持って、イモを入れる箱やトラックの荷台に一生懸命運びました。いただいたジャガイモは、全校の子どもたちで分け合ってお家に持ち帰りました。きっとその日の夕食は、ジャガイモを使ったメニューになったことでしょう。素敵な農業体験をさせていただいている JA 鈴鹿庄内支店さんに、心より感謝申し上げます。



【6月12日(水)1年生:不審者対応訓練「連れ去り防止教室」】

本校区は大変広いため、子どもたちが一人で校区内を行動せざるを得ない場面が時々あります。不審者のニュースが度々報道されており、庄内の子どもたちも不審者に出会うのではないかと心配になります。そこで、1年生の子どもたちに、鈴鹿市教育委員会教育支援課や鈴鹿警察署生活安全課から講師先生を招いて、不審者対応訓練「連れ去り防止教室」を受講してもらいました。教育支援課や生活安全課の方からお話をいただいた後、「もし不審者に出会ったら、どのように対応すればよいか」を動画で学びました。そして、模擬訓練を行いました。1年生の子どもたちに、「お菓子あげるよって言われたら、もらいたくない?」と聞いたら、「校長先生、ダメだよ、もらったら。」「言われても、絶対もらわないよ。」「いらないうってちゃんと言うよ。」等と自信をもって答えていました。子どもたちは、不審者役の方に捕まらない適度な距離をとって、誘いを断っていました。不審者役の方に捕まりそうになったら、子どもたちは笛を吹いて走って逃げていきました。そして、「子どもを守る家」の人役の方に「助けてください。」としっかりと話すことができました。1年生の皆さんは、正しく考え、きちんと行動することができ、とても貴重な学びの機会となりました。教えていただいた講師先生に感謝申し上げます。勿論、不審者に出会わないことを願っていますが、万が一の時は今日の学びをいかしてほしいと思います。



【6月13日(木)6年生:「認知症サポーター養成講座」】

6月13日(木)の午後に、6年生の子どもたちは、鈴鹿市からキャラバンメイト(講師の先生)を招いて、「認知症サポーター養成講座」を受講しました。「認知症サポーター」とは、認知症について正しく理解して、認知症の方やそのご家族に対して偏見を持たずに温かく見守る応援者のことです。子どもたちは、キャラバンメイトの方から、認知症の基本的知識とより良い対応や支援の方法を学びました。6年生の子どもたちが「認知症サポーター」になってくれることで、友だちも家族も地域の方々もみんな安心して庄内のまちがつかれていくと思います。私自身、幼いころに同居の祖母が認知症を患いました。その頃は、認知症という名前すらなく、私たち家族が必死に支えてきたことを思い出します。だからこそ、私は、このように社会全体で取り組んでいくことは、とても重要だと思っています。この取組にであつた6年生の皆さんは、きっと素敵なサポーターになってくれると確信しています。子どもたちに学ぶ機会を与えていただいた皆様には、心より感謝申し上げます。学校全体が人への温かさで満ち溢れるよう、これからもできることで精一杯取り組んでまいります。何卒よろしくお願いいたします。

